

お客様各位	統合デバッグ NW - 78K4から NW - 78K4 - 32への バージョンアップのお知らせ	ASM - 02 - 027 1/3
		平成14年2月27日
		(株)内藤電誠町田製作所 マイコンシステム事業部 第1営業部 営業部長 後藤 正宏

(作成 五十嵐)

拝啓、貴社益々ご清栄の段お喜び申し上げます。  
 また、平素は弊社の製品をご利用いただき誠にありがとうございます。  
 さて、標題の製品につきまして今般、バージョンアップを行います。  
 つきましてはご多忙中恐縮ではございますが、ご対処くださいますようよろしくお願いいたします。

敬具

## 記

### 1. 対象ユーザー (AまたはB)

- A. ND - K4 x x H - IDのセット製品 (ICE + 統合デバッグ) を購入された方
- B. NW - 78K4のソフト単体製品を購入された方

注: ND - K403P、ND - K404、ND - K421をお持ちで、統合デバッグをお使いのお客様は、対象外となります。

### 2. バージョンアップ内容

- ・今回のバージョンアップは、NW - 78K4 (16ビット版) からNW - 78K4 - 32 (32ビット版) への無償バージョンアップです。

・NW - 78K4 → NW - 78K4 - 32 (78K / IV用 V2.30)

注: ICE本体は、最新バージョンを使用する事を推奨いたします。

### 3. バージョンアップ開始日

- ・平成14年3月18日 (月) から開始いたします。

### 4. バージョンアップ方法

- ・弊社ホームページからバージョンアップ用ファイルをダウンロードし、貴社環境にインストールして下さい。
- ・新規インストールになりますので、旧バージョンのソフトがインストールされている必要はありません。
- ・バージョンアップ費用は無償です。

<手順>

製品情報の確認 (AまたはB)

- A. セット製品 ..... 製品名 (ND - K4 x x H - ID) 及びICE筐体裏面のシリアルNo.
  - B. ソフト単体製品 ..... 製品名 (NW - 78K4) 及びソフトユーザー登録カード\*1のシリアルNo.
- プロダクトIDの入手

- ・別紙のプロダクトID依頼書\*2に必要事項を記入して、弊社までFAXして下さい。

〔 FAX : 042 - 750 - 4183 変更 〕  
 〔 受付時間 : 月曜 ~ 金曜 10:00 ~ 17:00 〕

- ・弊社からプロダクトIDを記入した依頼書が返信されます。  
 \*本依頼書がユーザー登録書となりますので大切に保管して下さい。

ダウンロード

- ・返信された依頼書の“ダウンロード先”よりバージョンアップファイルをダウンロードして下さい。
- ・バージョンアップファイルは自己解凍形式ですので任意のフォルダに解凍して下さい。

インストール

- ・解凍された文書“使用上の留意点”に従って、インストールして下さい。
- ・インストール時のプロダクトID入力画面で返信された依頼書のプロダクトIDを入力して下さい。

\*1: ソフトユーザー登録カードを紛失された方は、プロダクトID依頼書とNW - 78K4のマスターフロッピーをお送りいただいてもIDを発行いたします。

\*2: 本文書及びプロダクトID依頼書は、ホームページからもダウンロード出来ます。

<http://www.ndk-m.co.jp/pdf/userid-k4-vup.pdf>

### 5. その他

- ・デバッグのCD - ROM及び製本版マニュアルが必要な方は、有償のバージョンアップも可能です。その際は、ASMISS営業までお問い合わせ下さい。
- ・不明点がございましたら、下記までご連絡ください。

〒229 - 0006 変更

神奈川県相模原市淵野辺2 - 17 - 28 変更

(株)内藤電誠町田製作所 システム機器事業部 ASMISS営業 変更

TEL: 042 - 750 - 4172 FAX: 042 - 750 - 4183 変更



# ソフトウェア使用約款

本ソフトウェアは、お客様が下記の使用約款にご同意いただいた場合に提供いたします。

使用約款を十分にお読み下さい。

ご同意いただける場合は、“ユーザー登録及びプロダクトID依頼書”又は“プロダクトID依頼書”に必要事項をご記入の上FAXして下さい。

FAXされた方に限り、バージョンアップその他のサポートをさせていただきます。

株式会社内藤電誠町田製作所（以下弊社という）が作成したソフトウェアのご使用に当たり、お客様は以下の使用約款にご同意いただきます。

1. 本約款はお客様が本ソフトウェアを受領した日から発行します。
2. 本ソフトウェアはすべての権利は弊社に帰属します。
3. 弊社の書面による事前の同意を得なければ、本ソフトウェアに関するすべてを他への引用及び第三者への譲渡、貸与をする事は出来ません。
4. お客様は、本ソフトウェアを受領した日から1ヶ月以内にソフトウェア媒体（CD-ROM、ダウンロードファイルなど）や印刷物の物理的障害を発見した場合は、交換を要求する事が出来ます。
5. 弊社に“ユーザー登録及びプロダクトID依頼書”又は“プロダクトID依頼書”が到着後、1年以内に弊社が本ソフトウェアに関して誤りを発見し、修正したプログラムを発表した時は、それに関する情報を販売店経由でお客様に通知いたします。

本ソフトウェアに関する弊社の責任は上記のみとし、万一本ソフトウェアの使用によりお客様に損害が生じたとしても、弊社は一切の責任を問わないものとする。

〒222-0033  
神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-20  
NKY新横浜ビル4F  
株式会社 内藤電誠町田製作所  
新横浜テクノセンター

## 2-4 . NW-78K4-32 V2.30主な変更点

### NW-78K4 (16ビット版) からNW-78K4-32 (32ビット版) への主な変更点

#### 2-4-1 全体

1	Windows95 , Windows98 , WindowsMe , WindowsNT4.0 <sup>注</sup> , Windows2000に対応 注：デバイスドライバが対応していないため使用できません。後日ホームページより供給
2	EXPC.INIファイルの未使用 このファイル中で指定していたI/Oポート・アドレスは、デバイス・ドライバ(Necpcif.vxd)が管理するようになりました。したがって、EXPC.INIの設定は、行なわなくてよくなりました。かわりに、デバイス・ドライバをインストールしてください。
3	NECDEV.INIファイルの未使用 このファイル中で指定していたデバイス・ファイルは、レジストリに登録します。そのため、デバイス・ファイルは専用インストーラDFINST.EXEを使用してインストールしてください。
4	全ウィンドウがサイズ変更可能になりました。
5	マウスの右ボタンで一部メニューの選択が可能 ウィンドウやダイアログ上でマウスの右ボタンをクリックします。クリックしたウィンドウやダイアログに対してよく使うコマンドのメニューが表示されます
6	Viewモード、Modifyモードの廃止 ウィンドウのモードがなくなり、常にメモリや変数値の書き換えが可能になりました。
7	ウィンドウのホールド状態の廃止 ウィンドウは、アクティブ状態、スタティック状態という2つの状態で存在します。スタティック状態を持つウィンドウは、複数ウィンドウ開くことが可能です。
8	プロジェクト・ファイル(*.PRJ)をプロジェクト・マネージャ(PM V3.00以上)と共通で使用可能、またコンフィグレーション・ダイアログからプロジェクト・ファイルの読み込み可能になりました。
9	ソース・パス指定ダイアログの削除 新規に追加されたデバッグ・オプション・ダイアログで設定します。
10	[実行] [ブレイクを無視]メニューの追加 ブレイク・イベントを設定したままでも、ブレイクを無視した実行をする機能です。
11	ソフトウェアブレイクがサポートされました。 *ただし、ICE上のファームウェアバージョンがV2.6以上の場合。 (確認方法)デバッグのメニュー・バーでヘルプ バージョン情報 78K/IV Executer ファームウェアのバージョンがV2.5以下の場合ICEをバージョンアップして下さい。
12	疑似DMM機能を追加 ユーザ・プログラムを実行中に、指定したアドレスの変数値を変更することができます。
13	コンソール・ウィンドウを追加 コマンド入力によりデバッグ操作が行なえます。スクリプト・ファイルを作成してバッチ実行を行なうことができます。

#### 2-4-2 ソース・テキスト・ウィンドウ

1	Cソース，逆アセンブルの混合表示が可能です。
2	ブレーク設定可能行に. *. のマークを表示します。
3	カレントPC行を黄色で表示します。
4	ブレーク設定行を赤色で表示します。
5	マウス左ボタンでソフトウェアまたは、ハードウェア・ブレークの設定が可能です。
6	数名の検索が可能([移動]メニュー)です。

#### 2-4-3 ウォッチ・ウィンドウ

1	変数ウィンドウからウォッチ・ウィンドウに名称が変わりました。
2	登録した変数の表示順序が変更できるようになりました。
3	変数毎に表示進数の指定ができるようになりました。
4	登録している変数に対する、[Read / Write / Access]イベントでのブレーク設定を行なうメニューを追加しました。

#### 2-4-4 SFR・ウィンドウ

1	表示させたいSFRを設定できるようになりました。
2	表示順序をアドレス順と名前順に切りかえられるようになりました。

#### 2-4-5 トレース・ウィンドウ

1	Cソース，逆アセンブルの混合表示が可能です。
2	トレース・データのクリア機能が追加されました。

#### 2-4-6 スタック・トレース・ウィンドウ

1	関数名の行をダブル・クリックすることにより、ソース・テキスト・ウィンドウへジャンプできます。そのとき、ローカル変数ウィンドウの内容は、スタック・トレース・ウィンドウで選択したカレント関数に連動して変化します。
---	--

#### 2-4-7 イベント関連

1	各イベント・ダイアログ(ブレーク，タイマ等)に、イベント・マネージャ・エリアが追加されました。
2	イベント解除/有効がイベント・マネージャ上で可能です。
3	ソース・ウィンドウ上からシンボル名をイベント・マネージャにドラッグ&ドロップすると、アクセス・イベントの作成が可能です。
4	ソース・ウィンドウ上から行番号をイベント・マネージャにドラッグ&ドロップすると、実行イベントの作成が可能です。

#### 2-4-8 ダウンロード・ダイアログ

1	プログラムのダウンロード時に、CPUリセットする/しないの指定が可能です。
---	---------------------------------------